



メディアとの上手な付き合い方（学校保健委員会）

インフルエンザの流行に伴い延期になった第2回学校保健委員会を2月14日(木)に開催しました。6月に行った第1回学校保健委員会では、「メディアと生活習慣アンケート」の結果から見てきた課題について児童、教員、保護者、PTA役員を交えて、協議を行いました。今回は、ご家庭にもご協力をしていただき、3年生以上の児童が取り組んだ「メディアコントロールチャレンジ」の結果の発表をもとに、その後グループ協議を行い、メディアとの上手な付き合い方について考えました。詳しくは保健だよりをご覧ください。



現在、テレビ、新聞、ケータイ、ゲーム機、…。私たちはたくさんのメディアに囲まれて生活しています。もはやメディアと付き合い合わない生活は考えられません。私たちだけでなく、これから長い将来にわたって情報社会・メディア社会を生きていく子どもにとって、メディアとの上手な付き合い方を身に付けることは、健康で安全な生活をするためにも、確かな学力や生きる力を身に付けるためにも極めて重要です。例えば、メディア活用を「禁止」することや利用時間を制限することは一時的な対処に過ぎず、上手な付き合い方を培うための「指導」ではありません。禁止・制限しただけで、上手なメディアとの付き合い方が身に付くはずはないからです。また、大人が子どものメディア活用に無頓着なまま「子ども任せに活用させる」のも、問題発生を助長します。子どもにメディアとの上手な付き合い方を身に付けさせるために、私たち大人が教えなければならないことを、ちょっと立ち止まって考えてみましょう。

大人が子どもたちに教えたほしい3つの知識

1 メディアの特性や適切なメディアの選択の仕方

メディアにはそれぞれ特性があります。ですから、同じことを伝えようとしても、メディアによって伝わり方が違う場合があります。送り手が伝えたいつもりですが、受け手には正しく伝わっていないこともあります。状況に合わせて適切なメディアを選択すること、いくつかのメディアを組み合わせることは重要です。

2 メディアが生活に与える影響

情報には送り手の意図が込められています。そして事実のすべてが伝えられるわけではなく、事実の一部が伝えられています。ある意味、送り手が伝えたいことだけを伝え、伝えたくないことは伝えていないかも知れません。私たちはメディアが伝える情報から偏った影響を受けている可能性があることを自覚しなければなりません。伝えられた情報をすべてうのみにするのではなく、冷静に見極めることも必要です。

3 メディアが取り巻く社会での安全な行動の仕方

メディアが取り巻く情報社会には、不要な情報・危険な情報もあります。情報に出会ったとき、自分の力でしっかりと読み解きましょう。もし自分の力で読み解けない情報・必要か不必要か判断できない情報に出会ったら、迷わず信頼できる大人に相談しましょう。



POINT

情報社会を支える技術の進展は著しく、新しいメディア・ツールが次々に登場します。その変化に追いつけなくても、大人は子どもにはない「幅広い知識や経験に基づいた判断力」を持っています。「新しいメディアのことは分からない」と尻込みするのではなく、上記したようなものの見方・考え方を発揮し、子どもたちのメディアとの付き合い方に積極的にかかわるようにしましょう。

子育てにおける父親の大切な7つの役割

子育てにおいて父親に求められる役割は何でしょう？

一般的に求められている役割を7つ紹介します。家庭の中の父親像がぶれないということは、子育てにおいて何よりも大切なことです。父親の役割が明確になっている家庭は、子どもの精神状態が安定すると言います。ここで紹介する役割が、父親像の確立に役立てば幸いです。

1. 子育てに参加して「頼りになる姿」を見せる

「お父さんはやっぱり頼りになるね」

そういう姿を見せることは、子育てにおいて非常に重要です。家長として父親として頼れる存在でいることは、子どもの心に安心を与えますし、「父親」という存在の意義をしっかりと植え付けることとなります。

2. 言葉ではなく行動することで理解させる

女性（母親）は、何でも言葉で理解させようとしがちです。でも、それでは子どもには伝わらないことがあります。そういう時こそ、父親の出番です。言葉も大切だけれども、行動することも大切。それを言葉ではなく行動で示すのが、父親に求められる役割です。

3. 子供にとって大きな壁となる存在でいる

父親の役割の1つとしてあげられるのは、常に子どもの壁で居続けることです。子どもは壁を乗り越えて成長するものです。壁となり続けるのは容易ではありませんが、子どもの成長を促すのなら、子どもが父親の背中を見て育つように壁で居続けることを努力しましょう。

4. 社会のルールを教える存在でいる

子どもにとって「父親」は社会との接点でもあります。子育てに関する細かなことを母親に任せていたとしても、社会に出た時のルールや常識は父親が教えたいものです。男性から見た社会のルールを教える存在。それが父親に求められる役割の1つです。

5. 子供を遊びに連れて行くことも大切な役割

厳しいだけの父親では、子どもは萎縮してしまいます。身体を動かして一緒に思いっきり遊ぶことも父親に求められる役割です。女性が好む遊びと男性が好む遊びは違います。母親である妻の負担を軽減するためにも、父親目線で遊びに連れて行くことはとても大切です。

6. 妻の愚痴を聞き、子育てのガス抜きをする

子育て中の奥さんは精神的に余裕がなく、大きなストレスを抱えています。そういう奥さんの愚痴を聞いてガス抜きをしてあげるのも、夫としての大事な役目です。夜、子どもが眠った後に、または奥さんが話しかけて来た時に、邪険にするのではなくしっかりと話を聞いてあげましょう。そうすることで夫婦間の愛も深まるはずです。

7. 何かあったら最後に必ず助けてくれる存在

子育てにおける一番大切な役割と言えば、何と言ってもこれ。「何かあったら最後に必ず助けてくれる」ということでしょうか。妻の側からすれば、子育てがどんなに大変であっても、「最終的に必ず助けてくれる」と思えば、多少の辛さも何とか乗り切れるものです。でも、「助けてくれない」と思うような状態であれば、不満がどんどん溜まってしまいます。子育て中の妻が求める「最終的な安心感」。それを与えてあげることが、夫に求められる一番の役割です。

子育てにおいて父親に求められる役割を7つ紹介しました。どれも少し意識を配ればできることばかりです。特に難しいことではないので、奥さんのためにも気を配るようにしてくださいね。



各種大会・コンクール入賞者！

○第3回「税に関する絵はがきコンクール」

玉村町教育長賞 田島こはる（6年）
金賞 相澤 陽菜（6年）
銀賞 内山 結愛（6年）

